



2022年4月現在  
KITA-NET Network  
会員数  
**MEMBER**  
正会員  
56団体・14個人  
賛助会員  
46個人  
13企業・団体

# きたネット

# vol. 11

# KITA-NET NEWS 2022/04

きたネットニュース

**きたネット賛助会員 / 北海道の環境活動を支援する企業・団体**

公益財団法人秋山記念生命科学振興財団 / 網走市廃棄物処理協同組合 / 株式会社櫻井千田 / 公益財団法人知床自然学院大学設立財団 / 親切会北海道支部 / 株式会社地域環境計画北海道支社 / DCM株式会社 / 株式会社トゥリー / パタゴニア札幌北・パタゴニアアウトレット札幌南 / 株式会社プリプレス・センター / 公益財団法人北海道新聞野生生物基金 / 一般財団法人前田一歩財団 / 雪印種苗株式会社 /

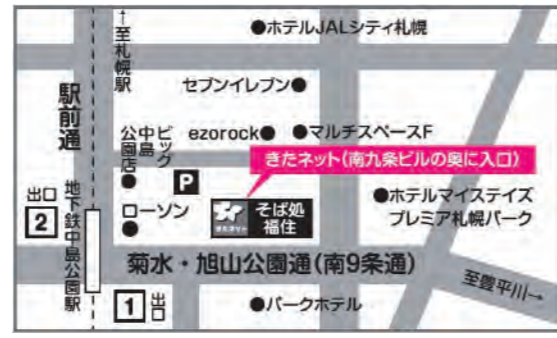
**きたネットの活動にご寄付・ご協賛をいただいたみなさまありがとうございました(2021年4月~2022年3月)**

全国賃貸管理ビジネス協会 北海道支部、公益財団法人日本賃貸住宅管理協会 北海道ブロック、公益社団法人全国賃貸住宅経営者協会連合会 北海道支部、株式会社北翔、DCM株式会社、しらいトランク・サポート株式会社、山本建設株式会社、石上車輛株式会社、株式会社櫻井千田、北海道中央バス株式会社、札幌工業株式会社、フォレストクリエイトタック(TACK)、株式会社ファズ、株式会社宮北都市開発、株式会社セクト、株式会社平和恒産、有限会社ドルフ、株式会社江上、株式会社札幌カンリセンター、株式会社トラベル北海道、コープさっぽろ組合員活動委員会、コープさっぽろ組合員活動地区委員会12地区/南空知・石狩B・函館・室蘭・北見・札幌東・苫小牧・帯広・釧路・旭川・西・小樽

**【NPO法人 北海道市民環境ネットワーク事務局】**  
〒064-0809 札幌市中央区南9条西3丁目2-5 南九条ビル603  
Tel 011-215-0148 Fax 011-215-0149  
E-mail office@kitanet.org



きたネットは、一般財団法人セブン-イレブン記念財団から助成を受け、市民の環境活動を支援する「市民環境活動支援協定」を結び、北海道の自然環境を子どもたちの未来へ引き継ぐために活動を行っています。



きたネットWeb <http://www.kitanet.org/>  
きたネット <http://kita.net>  
環境情報Blog <http://blog.go.ne.jp/kitanet-staff>  
きたネットFacebook <https://www.facebook.com/kitanet.org>  
ラフテラス・クラウンツツ北海道 <http://www.love-earth-hokkaido.jp>

## NPO法人 北海道市民環境ネットワーク 「きたネット」

北海道の環境保全活動を推進・支援する団体・個人・企業が参加するネットワークです。

# MESSAGE

2022年11月、きたネットは設立20周年を迎えます。「平和に勝る福祉なし、戦争に勝る環境破壊なし」という言葉があります。COVID-19禍、記録的な大雪のあと、ロシアのウクライナ侵攻という大事件が勃発しました。私たちの社会、暮らしは大きな問題を突きつけられています。そんな中、北海道では、知床の観光船の事故が起こり大きな衝撃を受けています。徹底的な原因究明と、事故を二度と起こさないための仕組みが必要です。また、高病原性鳥インフルエンザ、北海道各地で都市エリアへのヒグマの出没など、次々と問題が生じています。このような状況下、環境団体のネットワークに何ができるかを共に考え実行していきましょう。



きたネット理事

## 長谷川 理 (NPO法人 EnVision環境保全事務所)

「昨年まで4年続けてきたネットフォーラム」に携わり、企画や司会進行役を務めた。人材育成、都市のヒグマ、野生生物のリスク、餌付け問題といったテーマを取り上げた。きたネットフォーラム以外にも、これまで様々なシンポジウムやミニ講演会、野外での自然観察会などを企画・開催してきた。

元々はタンチョウや海鳥類を対象に、野外調査やDNA分析を用いた研究に従事していた。研究活動は今も変わらず好きだが、どうも一つの事を探求し続ける素養に乏しく、いろんなことに首をつっこんだり、足を踏み入れたり、手を汚したりしている。研究分野だけでなく、他業界の話の聞くのは楽しい。ただ根気も無い上に面倒くさがりのため、分からないことを自分で調べて解明するような地道な努力はできない。手っ取り早く誰かに聞くほうがラクなんだ。そこで、誰かしらに取り入る術を磨こうと地道な努力を重ねた。講師料も払わないで個人的に専門家の話を聞くのも気が引けるので、活動助成金を申請し

てフォーラム等を企画し、講演してもらおう作戦をとることにした。社会貢献を口先で唱えつつ、ようは自分が知りたいことを参加者を巻き込んで聞くという、素晴らしく我儘な作戦なのだ。そんな身勝手な心根でも、何度か繰り返すうちにフォーラムの企画や運営に慣れてきた。やがて司会やコーディネートを他団体から依頼されるようになった。その一つがきたネットだ。「ファシリテーター」とやらを依頼された際は、意味が分からないのでこっそりネットで調べて、さも最初から知っていたかのような顔で引き受けた。こうして知ったかぶりも上達した。うまく進行できず登壇者や参加者のヒンシュクを買うこともあるが、そんなことは気にしない。きつと面の皮も厚く成長したのであろう。

こんな私でもいろいろな企画ができるのだから、この文章をお読みのみなさんもどんどんチャレンジして欲しい。開催を支援してくれる助成金もあるし、新型コロナの流行の中で「オンライン開催」という新しい手段も浸透した。不慣れた技術面や通信不備などの不安もあると思うが、きつとなんとかなるでしょう。思い切ってトライしてください。

インフォメーション

# INFORMATION

## きたネット2022年度通常総会6月24日開催

きたネットの2022年度通常総会は、昨年にひきつづきONLINE総会として開催します。正会員のみならずぜひご出席ください。正会員が欠席の場合は、書面評決書、または委任状のご提出をお願いいたします。ONLINE総会には賛助会員のみならずも参加できます。

- 議案送付予定 6月中旬
  - ONLINE総会 2022年6月24日(金)19:00~20:30
- 詳細は書面にてご案内いたします。

## 2022年11月 きたネット設立20周年

きたネットは2002年11月9日に設立、みなさんのご支援のもと、今年、設立20周年を迎えます。20周年を記念し、これまでの歩みと今後を考えるセミナー、11月には、会員のみならずにお集まりいただける会を設けたいと考えています。詳細は総会の際にご相談させていただきます。どうぞよろしくお祈りします。